

清流ニュース

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
<http://seiryuuji.jp.org/>

令和三年叙任式

十一月九日

本山宥清寺開導聖人ご尊前に於て
「要流院日廸」の院日号を賜る



新僧侶の法衣を着用し、開導聖人のご尊前にて

ごあいさつ
ありがとうございます。

おいで、御講有上人より
上座講師の叙任を頂戴いたしました。

御導師がご遷化になつて約一年、「なんとかここまで生きていきたい」と

仰せでしたが、念願叶わず、この度、お写真をお供してお参詣をさせていただきました。

ただきました。本日を迎えることが出来ましたのも、ひとえに皆さまのお支えあつてこそと厚く御礼申し上げます。

本月の他寺院参詣

本月は二ヶ寺の他寺院参詣があります。

二ヶ寺とも当山住職が奉修導師をお勤めになります。

十一月十四日(日)

六日(土) 海外教区

右の教区を主体として、教化誓願達成の為にご祈願をさせていただきますので、全信徒の参詣を奨励いたします。

五日(金) 西多摩教区

十一月二日(火) 小金井教区
三日(水) 東村山教区
四日(木) 昭島教区

十一月朝参詣強調週間
本年最後の朝参詣強調週間となります。
参詣者数は、コロナ禍の対策として、当山からは五名のお参詣をお願いしております。

大宮、妙玉寺
参詣目標は十五名で、弘通車二台での参詣です。
十一月二十一日(日)
大和 法深寺

法華經を余人のよみ候は口ばかり、言ばかり読めども心はよまず、心は読めども身によまず色心二法共にあそばされたること責く候へ。(土籠御書695)

せられていた日朗等五人の弟子に与えられたお手紙の一節であります。

お祖師様はあらゆる迫害の中、於て其の信仰を一貫せらるることになつたのです。

信仰が強かつたのでこういうことになつたわけで、その強いことは、口先だけで法華經を読んでも心に信じなければ意味がありません。たいていの人

は「口バカリ」であつて心によまなければダメで、タトヘ心に読んでも「実行しなければ何にもなりません。」この「実行する」というのを「色読」と申すので法華經は心読色読でなければなりません。

「仏滅度ノ後ニ悪世ノ中ニ於テ、暫クモ此經ヲ説ン。是則チ難シトナス。」(宝塔品)と説かれてあります。その

でも不充分。御題目は口で唱え、心に決定し、菩薩行を実践するというのが、色読といふもので「色読」しなければならぬという事であります。

同帰亭要語録

色
読

法華經を余人のよみ候は口ばかり、言ばかり読めども心はよまず、心は読めども身によま

ず色心二法共にあそばされた

こと責く候へ。(土籠御書695)

せられていた日朗等五人の弟子に与えられたお手紙の一節であります。

お祖師様はあらゆる迫害の中、於て其の信仰を一貫せらるることになつたのです。

信仰が強かつたのでこういうことになつたわけで、その強いことは、口先だけで法華經を読んでも心に信じなければ意味がありません。たいていの人